



- ①めあてをもって学習することができる計画性
- ②筋の通った考えや正しい判断ができる論理性・判断力
- ③学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持（主体的な学び）ち、ねばり強く取り組むとともに自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- ④児童同士や教師、地域の人との対話や交流、歴史上の人物（先哲）の考えを手がかりに、自己の考えを（対話的な学び） 広げ深める
- ⑤各教科等で習得した概念や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決する・課題解決能力
- ⑥自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりする等、深い学びの実現に努める
- ⑦今日の授業で何が分かって、何が分からないのか(課題) を自己評価し、課題を解決することができる・メタ認知
- ⑧進んでもっと良い考え方、方法を生み出すように努めることができる（創意工夫）
- ⑨人の話をしっかり聴くことができる（学習を支える力）
- ⑩正しい言葉づかい(敬語) ができる
  - ・学習習慣の確立
  - ・語尾に「です」「ます」を使う(話型指導の徹底)
- ⑪学習用具を忘れず、授業に臨むことができる
- ⑫背筋を伸ばして授業に臨むことができる・立腰教育⑬進んで読書し、心を豊かにするとともに知識を豊富（向上心）にする
- ⑬やさしい心で自然や物を大事にすることができる自然愛護
- ⑭他人の立場を理解し、協力することができる思いやり・協力
- ⑮ふわふわ言葉を使うことができる。学校いじめ防止
- ⑯「いじめは決して許されない、許さない、見過ごさない」態度を持つことができる（いじめ解消100%）
- ⑰**日寺**を守り、**場**を清め、**ネL**を正す
  - ・学校凡事徹底
    - 日寺**を守り・・・5分前行動
  - ・あいさつ運動
    - 場**を清め・・・準備、片付け
  - ・無言清掃(新)
    - ネL**を正す・・・心を込めたあいさつ
  - ・真志喜中学校区　・（語先後礼の奨励）（朝の自主的あいさつ100%）　共通実践項目
- ⑱社会（学校及び地域、国内・国際社会）の一員とし(社会貢献)て自分にできることを進んで行うことができる（社会参画）
  - 進んでボランティア活動に参加することができる・社会性
- ⑲家族や先生方、級友、地域で関わる方々に尊敬、感謝の心を持つことができる
- ⑳美しいものや崇高なものに感動できる
- ㉑集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成・キャリア形成　する【学級活動（3）】と自己実現①「自分の命は自分で守る」という気持ちを持ち、発達段階に応じた危機管理能力が育っている・安全②自分の心身の健康に関心を持ち、病気やけがの予防に心がける
- ㉒歯みがきの習慣化を図るため日常的な指導及び強化週間（年3回）を実施し、歯を大切にすることができる（食後のぶくぶくうがいの習慣化　むし歯治癒率目標値60%）
- ㉓食生活に関心を持ち好き嫌いなく食べることができる・食習慣の形成
- ㉔自分の体位、体力に関心を持ち、めあてを持って運動・体力の向上することができる（持久力・泳力の向上）・徒

## 歩登校

- ㉕ねばり強く、最後まで頑張ることができる・意志力
- ㉖働くことを喜び、進んで汗を流すことができる・勤労、忍耐力

### 3 めざす学校像【共に学び 共に育ち 共に生きる場としての学校】

知・徳・体の調和のとれた子どもの成長を促し、一人一人の子どもに自己肯定感や将来への希望をもたせる安心・安全な学校をめざす。

- (1) 自己肯定感を高める学校
- (2) 互いに認め合い支え合える学校
- (3) 花いっぱい、優しさいっぱい、歌声いっぱい、笑顔でさわやかな あいさついっぱいの学校
- (4) 集中力、やる気・元気・根気を大切にしながら、学習や行事、掃除や係の仕事に積極的に取り組む学校
- (5) 学校教育目標（総括目標、具体目標）を保護者や地域社会と共有しながら実現させる地域協働学校（コミュニティ・スクール）

#### 【はごろも地域協働学校像】

- ① どのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標や学校ビジョンを保護者・地域住民と共有し、地域と一体となって子どもたちを育み、『社会総掛かりでの教育の実現』を目指す「地域とともにある学校」をめざす
- ② 情報発信、情報収集、保護者や地域との連携を重視し、地域と一体となって子どもたちを育む学校経営・教育活動を進める学校をめざす
- ③ 子どもの「学力保障」と「成長保障」のある学校をめざす
- ④ 子どもが将来の夢や希望に向かって生き生きと活動し、地域に誇れる学校をめざす
- ⑤ 安心・安全で、いじめの防止に全力を尽くす学校をめざす

### 4 教師像

- (1) 教職としての高い志と強い情熱があり、人間性豊かな教師
- (2) 「教師は授業で勝負する」という信念を根本に、児童に学ぶ意欲を喚起し、確かな学力の向上に努める教師
- (3) 「やって見せ、言ってみせ、させてみる」師弟同行に努める教師
- (4) 教育公務員としての職責を常に自覚し、同僚性を発揮して法令遵守を徹底する教師
- (5) 児童・保護者・地域の願いや課題等を真摯に受け止め、信頼される教師
- (6) 「チームはごろも」の視点に立ち、ベクトルを揃えて課題解決に努める教師
- (7) OJTを計画的に実施し、先輩・後輩のスキルの高め合いや交流を大切にする教師
- (8) 危機管理の鉄則「さ・し・す・せ・そ」の徹底に努める教師

### 危機管理の鉄則

さ さいあく（最悪）を想定して

し しんちょう（慎重）に・・・いじめ、暴力行為等があった場合は、事実確認をしっかりと行い慎重に対応する。

す すばやく（素速く）・・・児童へのすばやい生徒指導、安全指導、すばやい救急処置（ケガ）校長・教頭へのすばやい報告・連絡・相談

せ せいじつ（誠実）・・・保護者への連絡（事件・事故があった当日に連絡）

そ そしきで（組織で）学級担任一人で抱えこまず学年全体、学校全体で動く

### 5 児童像

- (1) 学習の大切さがわかり、粘り強く勉強に取り組める子
- (2) 正しい言葉づかい（敬語）ができ、話をしっかりと聴く子（話型指導の徹底）
- (3) 他人に対して思いやりの心を持ち、いじめを嫌い、ふわふわ言葉を使える子

- (4) 健康的で明るい生活ができ、世の中のルールを守る、社会性をもつ子
- (5) 進んでボランティア活動に参加する子（朝の自主活動、委員会活動、地域クイズ活動等）
- (6) 自分の住んでいる地域（宜野湾市、各行政区）を愛し、大切にする子

## 6 保護者像

- (1) 学力づくりの基礎である、生活リズム・健康づくりのできる保護者
- (2) 家庭、学校、社会のそれぞれのルールを守らせ、その「しつけ」ができる保護者
- (3) 子どもの夢を育み、安らぎと対話のある楽しい家庭づくりに努める保護者
- (4) 学校と地域（宜野湾市、各行政区）の架け橋となり、学校目標の実現に向け、協働できる保護者

## 7 地域像

本校においては、下記の3点を望ましい地域像として設定し、地域協働学校（コミュニティ・スクール）の推進に努める。

- (1) はごろもっ子が地域の中で育てられている安心感がある
- (2) 保護者同士、地域の人々とのつながりが築かれている
- (3) 学校教育活動が地域の活性化につながる。

## 8 学校経営方針

### 学校経営の基本理念

社会の急激な変化が進む中で、子どもが予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育成するため、学校教育の改善・充実が求められている。また、学校が抱える課題は、より複雑化・困難化している。

このため、はごろも小学校においては、新しい時代に対応する教育の役割をしっかりと自覚し、子どもを中心に据えた教育の実践に努める。

新学習指導要領の改訂では、「主体的、対話的で深い学び」が最重要視され、知識の理解の質を高め、資質・能力を育む授業改善が強く求められる。このため、本校においては、課題解決的な学習を重視するとともに、全教職員で校内研修・経年経験者研修を中心とした授業改善に努め、はごろもっ子の成長保障に努める。

また、平成30年10月12日、宜野湾市教育委員会より「学校運営協議会」設置校として指定されたことを受け、地域協働学校（コミュニティ・スクール）として、はごろもっ子一人一人のよさや可能性を伸ばすことを最大の目標とし、教職員及び保護者、地域の協働実践により、「地域とともにある学校経営」の実現に尽力する。

さらに、はごろも小学校の特色ある教育を確立していくため、校内組織の機能化を図り、教職員「一枚岩」に立って知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努める。特に、不登校や学級生活不適応（日常的な教育相談室利用）、いじめ等の課題に対しては、学級担任だけに抱え込まず、「チームはごろも小学校」を意識し、全校協働体制で課題解決に力を傾ける。

さて、文部科学省が実施した教員勤務実態調査（平成28年度）の集計結果、教師の深刻な勤務実態が明らかとなった。

この結果を踏まえ、文部科学省は、各学校に対し、「学校における働き方改革」を推進し、教師が心身の健康を損なうことのないよう業務の質的転換を図ることを求めている。

なお、働き方改革を進める上で以下の4点が本校の重要課題である。

- (1) 「チームはごろも小学校」の実現に向け教員が本質的に担うべき業務をどう焦点化すべきか
- (2) 施設管理員や事務職員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、学校支援地域本部事業コーディネーター、学習支援員、特別支援教育支援員など様々な専門スタッフや支援人材の役割分担及び連携の在り方はどうあるべきか
- (3) 総授業時数が増加する状況の中、新学習指要領等を円滑かつ確実に実施するために必要な方策をいかに講じるか

(4) 生徒指導等の体制の強化・充実をどのように進めていくべきか

(5) 教職員が担うべき業務について、ICTの効果的な活用なども含めた更なる業務改善、その効果的な実施体制の構築に向けて、どのような方策を講じていくべきか

そこで、はごろも小学校においては、文部科学省の通知文「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について」

(29文科初第1437号 平成30年2月9日)を踏まえ、「2019年度 はごろも小学校業務改善方針(資料編参照)」を策定し、限られた時間の中で教師と児童が向き合う時間を十分確保し、児童に必要な総合的な指導を持続的に行うことのできる状況を作り出す取組をめざす